



2P) 天窓やハイサイド窓を利用して広間に十分な採光を取り込んでいる。隣地の建物が迫っているがこの空間に居るとそれらを感じさせず、明るさと共に開放的な雰囲気のある空間となっている。

3P) 2台の駐車スペースの奥に板塀を設け、道路からの視線を遮っている。板塀には表札やポスト、インターフォンなどを取り付け、機能を併せ持つ目隠し塀となっている。

宅を購入し、既存の二階建ての住宅に暮らしていましたが、購入した当初からリフォームや建て替えなどの計画をしていたようですが、日々の生活に追われ、気が付けば10年の月日が流れてしまったと伺いました。

Eさんから具体的な相談をいただいたのは今から2年半程前になりますが、その数年前に当社で企画した、葛布体験の勉強会に参加してくれました。自然素材やものづくりなどに興味を持たれていたEさんは家づくりにも関心が高く、様々な希望や相談を受けながら家づくりがスタートしていきました。一番初めに相談を受けたのは今の家をリフォームして住み続けるのか？思い切って建て替えるのか？という選択。リフォームといっても設備を新しくしたり内装の綺麗にするような表面的な工事だけでなく、床下の湿気対策やシロアリ被害についても悩んでいました。また、日当りや間取りの不便さも感じており、それらをリフォームで解決すると大掛かりな工事となってしまう、コストとのバランスを考えながら建て替えをする決心をされました。そうなるも今まで悩んでいた間取りなどの制約が無くなり自由な発想で住まいを考える事ができます。敷地の形や隣家との関係など解決しなくてはいけない問題点もありますが、全く新しい発想でプランを考え、楽しい暮らしをイメージしながら打ち合わせを重ねていきました。

# 明るく・涼しく・心地よく

完成現場報告

静岡市 / 『AGRIの家』

文・写真 / コロラボ 山崎健治



昨年の6月、徳川家康ゆかりの地である駿府公園近くに建築した『AGRIの家』が完成しました。この地域は静岡市の中心地であり歴史や文化の発信地ということでも様々な施設や歴史的建物、学校やオフィスなども多く点在する地域ですが、主要な道路から少し入った場所はとて静かな住宅地で、利便性なども良いことから静岡の中でも人気の高い住宅地となっています。『AGRIの家』のEさんは数年前に土地と住

夏は薪づくりシーズン



冬は薪ストーブを楽しむ季節ですが、春から秋にかけてはメンテナンスと薪づくりのシーズン。コロラボOBの方々も、ベテランさんも新人さんも集まり、造園屋さんや農家の方から薪情報を持ち寄りながらグループになって薪づくりを楽しんでいます。薪ストーブの使い方や道具などの意見交換などをしつつ、時には家の紹介を交えながら楽しい一時を過ごしています。薪ストーブはエアコンやファンヒーターなどに比べると手間のかかる暖房器具で、薪を購入すると電気代や灯油代よりコストも高くなります。心地よい暖かさの反面薪の準備などに手の掛かる薪ストーブですが、気の合う仲間と薪づくりを行えばきっと楽しいイベントになると思います。炎天下の中の薪割りあまりお勧めしませんが、おしゃべりを交えながらの休憩を挟み、夏のイベントとして楽しむのもひとつだと思います。



デッキ/広間の前にデッキスペースを設け、長い軒の一部をガラス屋根とした。ガラス屋根から入った光は欄間窓を通して広間を明るくしてくれ、雨の降り込みも抑えてくれている。

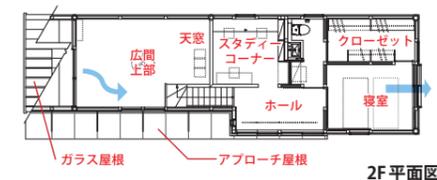
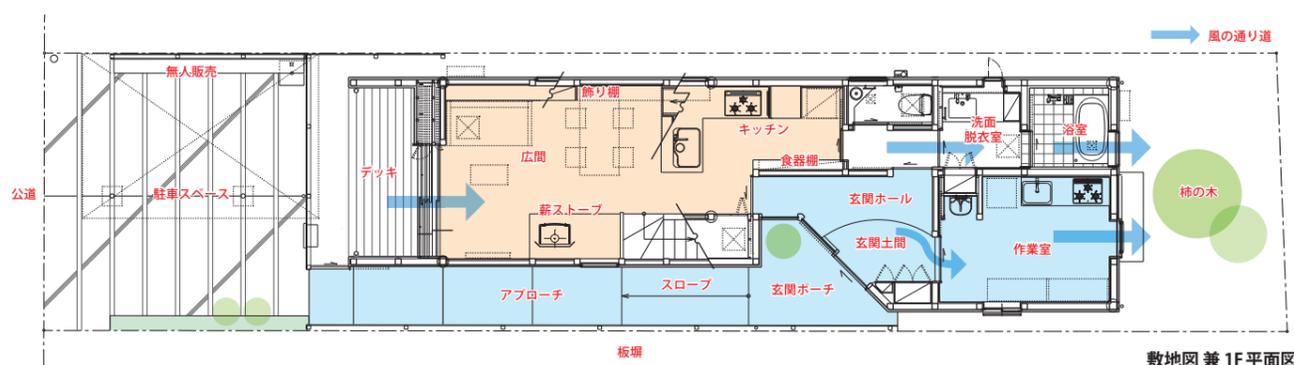
左) 網戸/南面に設置した木製窓の戸袋には、ガラス窓の他に網戸や雨戸、障子を収納。大きな網戸からは風が入り、家の中を通り過ぎていく。



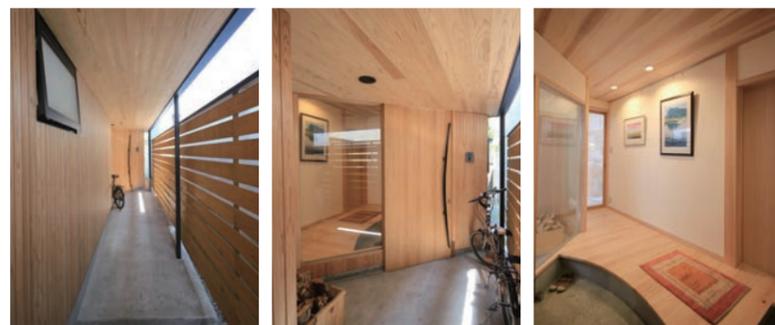
下) 天窓/キッチン上部に設置した天窓。夏場の日射を考慮し細長く小さな天窓とした。



2階ホールより広間を眺める。テーブルやソファ、薪ストーブなどがコンパクトに配置され、限られた空間の中でも無理なく快適に暮らす事が出来ている。ソファ背面に設置した横長の飾り棚は、省スペースの中で装飾と収納を兼ねたアイデア。使い勝手も良く空間のポイントにもなっている。



駐車スペースから玄関との間に長いアプローチを設置。自転車置き場も兼ねたアプローチには屋根と板塀を設け、趣のある雰囲気。玄関を明るく演出するためにポーチには大きなガラス窓を設置。ガラス窓からはコレクションしている絵画などを見ることが出来、来客を楽しませてくれている。



敷地条件と要望のバランス

『AGRIの家』の敷地は南北に細長い形状で、敷地間口が3間(6.4m程)とやや厳しい条件の敷地です。この条件の中で日当たりや通風を確保し、また生活スペースにプラスしてEさんの仕事場になる土間の作業場を1階に設ける事が間取りの要望でした。Eさんご実家の農業を継がれ、主に野菜や果物の生産と販売を行い、自宅でも果物などを加工した食品づくりをしています。そのため、この作業場はなくてはならないスペースとなり、駐車場から作業場まで野菜を台車に乗せて運ぶ事から台車が通れる通路が必要でした。

旧住まいの玄関は建物南側の向かって左側に位置し、建物間口の約半分を使っていたのですが、同じ配置にすると日の当たる南側の約半分を玄関スペースに取られてしまい、採光や通風などの妨げになるのはモッタイナイ。しかも、野菜を乗せた台車が家の中を通ると考えると、玄関から作業場までの道の様なスペースが必要になってしまい、生活スペースが犠牲になってしまったモッタイナイ。玄関の役割と作業場までの動線などを考えて、最終的には建物東側の南北中心付近に玄関を配置しました。作業場は玄関の横に配置し、台車は玄関の土間続きでコンパクトに移動できるようにし

ました。玄関をこの位置にする事で長いアプローチが出来上がり、緩やかなスロープ通って作業場までの動線を確保する事ができました。長いアプローチには屋根と目隠しのための板塀を設けることで、路地のような雰囲気生まれ、自転車置き場としても利用出来るスペースとして考えました。またこの場所は隣家の中庭部分と重なり採光が期待出来ると考え、長いアプローチでも明るく趣のある空間をつくる事が出来ました。

旧住まいの問題点から考える新しい住まい

旧住まいの間取りを見ると、建物間口の影響は玄関だけでなく、あちらこちらで感じられ、その問題のひとつが採光の確保でした。建物の間口方向には、玄関とキッチン並んでが配置され、キッチンから北側に居間、和室と続いて並んでいました。キッチン自体は南向きに窓があり明るいのですが、それに続く居間や和室は昼間も照明をつけなければいけない照度でした。明るさに加えて夏の湿度や冬の寒さの問題も加わり、快適性と共にランニングコストの面からも改善が必要だと感じ、新しい家の計画の最重要課題として採光の検討をしていきました。旧住まいの問題点からプランを考え、新しい家の間取りでは南に面して広間

を配置し、大きな木製ガラス窓を設けました。ガラス窓は戸袋への引き込み窓とし、戸袋には網戸と雨戸、障子も出し入れ出来る仕組みとしました。また、広間の東面には台形のFIX窓、キッチン上部には天窓も設置し、南面からの採光だけでなく、時間と共に変化する様々な角度からの採光を確保することが出来ました。南側に大きな開口部を設けた事で、採光と共に家の中を通り抜ける通風も確保する事が出来ました。広間に続いてキッチンを配置し、トイレ、洗面脱衣室、浴室を連続させる事で南北に風が通り抜け、心地よさと共に水廻りなどの湿気対策にも効果を発揮しています。また、風は2階に設けたスタディーコーナーと寝室を通って北庭に通り抜け、夏場の暑い空気を排出する機能もあわせて確保する事ができました。『AGRIの家』は昨年の夏に完成し、今年二度目の夏がやってきます。夜は北庭から風が入り、寝室を通過してロフトに設けた窓から排出され、寝ている場所に心地よい風が通り抜けると話してくれ、今回思い切って建て替えをする事で、旧住まいでは考えられない採光と通風を得る事ができて満足していると喜んでいただきました。

## 『AGRIの家』手づくりアイテムをご紹介



3



2

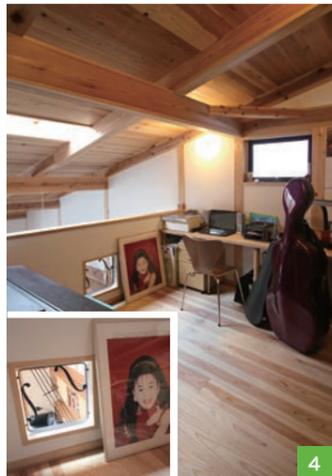


1

- 1) 目隠しのために設置した板塀の壁を利用し、駐車場の屋根を製作。柱はステンレスの丸柱を採用し地中深くの基礎に連結。日陰になるこの場所には無人販売用の棚板を設け、毎日新鮮な野菜を販売している。
- 2) 階段手摺の一部をアイアンで製作。下の写真の飾り格子とあわせてデザインし、音楽好きのお二人にちなんだ形を提案させていただいた。
- 3) コロラボ定番の葛布ガラス。透明ガラスの間に葛布という織物を挟んでいる。程よく目隠しになり、光の透け方が綺麗だと喜ばれている。
- 4) 2回のスタディールームの手摺壁に取り付けたアイアンの飾り格子。チェロの一部をデザインとして取入れ部屋のポイントとした。
- 5) 青森ヒバとサーモタイルで製作した木のお風呂。浴室の窓は目隠しを兼ねたオーニング型とし、家の通風に一役かっている。



5



4

### 仕様内容

家族構成	家族2人
敷地面積	142.24㎡
建築面積	64.66㎡
延べ床面積	91.10㎡
構法	在来工法
屋根	ガルバリウム鋼板タテハゼ葺き
外壁	漆喰コテ押え仕上げ、杉赤小幅目透かし張り、ガルバリウム鋼板角波タテ貼り
外部建具	木製オリジナル建具 桧、ナラ、ヒバ ペアガラス アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉本実張り 厚12mm
壁	漆喰コテ押え、クロス貼り
床	桧本実板張り 厚30mm
内部建具	オリジナル木製建具
キッチン	ステンレスヘアアライン天板 オリジナルキッチン
洗面化粧台	TOTO人工大理石天板 オリジナル洗面化粧台
浴室	床:300角タイル貼り 壁、天井:青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm
薪ストーブ	ネスターマーチンS33
設計者	山崎健治
施工	有限会社こころ木造建築研究所
竣工	平成26年7月

### 建物と一体となった 収納家具

採光や通風を確保する事とあわせて、『AGRIの家』では省スペースで利用出来る収納家具をいくつか提案させていただきました。広間の西面いっぱい設置した飾り棚には6つの区切りがありますが、そのうち3つのスペースに引き戸を設け、収納スペースとしても利用できる工夫をしています。



上) 広間に設けた飾り棚兼収納棚。6箇所のスペースのうち3箇所に扉を設けて収納スペースとしている。飾り棚には旅行での思い出の品やアンティークの珍しい品が並んでいた。

下右) キッチン背面に設けた食器棚。壁の厚みを利用して省スペースで出来ているのが特徴。上部にはアイアンで棚を設けた棚板を設置し、毎日使う生活道具やコレクションなどが並んでいる。

下左) キッチンにはL型配置とすることで、省スペースの中でも作業性と収納を確保することができた。コンロ前の白いタイルと黒い目地が清潔感を演出し明るいキッチンとなった。

飾っておきたい思い出の品や大切にしている品などがあふれるのに加え、それらを収納するケースや説明書など一定の季節にだけ活躍するものは、やはり近くに収納しておきたこと、収納扉付の飾り棚が出来上がりました。扉は一本のレールに3枚設置する事で飾り棚の奥行きを小さくし、扉の場所も限定していませんので、気分や飾り付けにあつた配置で変更する事もできます。先日伺った時は旅行先の思い出の品や珍しい品を綺麗に飾ってありました。好みの建築の書籍も何冊か飾られ、つつい見とれてしまう飾り棚になっていました。

広間の飾り棚の他、キッチンに造り付けた食器棚にもひと工夫しました。限られたスペースの中で有効に収納を確保したいと考え、壁の厚みを利用した収納家具を考えました。壁の厚みは約10cmあり、カップやグラスなどを収納するには十分な大きさです。また、20cmの収納スペースに10cmのスペースが加われば立派な食器棚が出来上がり色々な物が収納できます。今回のケースでは、冷蔵庫と向き合う位置に壁の厚みを利用した食器棚を設け、上部には毎日使うコーヒーの道具やお酒などを並べて置く棚を設けました。棚板にはアイアンで制作した柵を取り付け、機能とあわせてインテリアにも一役かつた食器棚が出来上がりました。

### 敷地条件を生かした 快適な暮らし

家づくりは敷地条件や隣地の状況なども大きく関係し、自分たちの希望に合った暮らしとあわせて検討していくことが大切です。要望ばかり膨らまして敷地条件を無視した住まいは決して満足いく内容にならず、むしろ、あちらこちらに不具合や問題が発生してくると言っても過言ではないと思います。今回建築をさせていただいた『AGRIの家』も様々な問題や制約がありました。敷地条件をよく観察し、要望とのバランスを考えて欠点を利点に変える工夫が出来ました。家づくりは一度計画してしまえば簡単に変更することは出来ず、生涯にわたってその場所、その家に暮らしていく方も多いと思います。せっかく縁があつてその場所と付き合うことになったのであれば、やはり快適に、楽しく過ごしていきたいと考えますよね。今回『AGRIの家』の建築は、リフォーム相談から始まり最終的には全く違った形での建て替えとなりましたが、今回新築したこの家がEさんご夫婦に合った快適な住まいとなり、日々の暮らしを楽しんでいただければと思います。広間に置かれた大きな観葉植物が今後ますます成長して、この家のシンボルになってくれるといいですね。